

東アジア首脳会議（EAS）議長声明（骨子）

- 東アジア首脳会議（EAS）プロセスの更なる強化と統合を期待。EASが10周年を迎えるにあたり、EASのこれまでの成果を評価し将来の方向性を示す必要性に合意。EASの決定・勧告のフォローアップと実施を確保するため、ASEAN事務局強化の必要性を強調。
- 東アジア低炭素成長パートナーシップ対話の成果に留意。民間セクターからの参加の増加に満足。
- 西アフリカでのエボラ出血熱の前例のない流行に深い懸念を表明。エボラ出血熱の拡大を防ぐため、最も影響を受けた国に対する財政的支援・実用的支援の重要性を強調。エボラ出血熱は、人命と地域経済への多大な影響に加え、国際の平和と安全に対する潜在的脅威であるとの理解を強調。エボラ出血熱の更なる広がりを防止するためのあらゆる必要な努力を支援するとの固い決意を表明。その観点から共同声明を採択。
- 第3回国連防災世界会議への積極的な参加と緊密な協力を要請。
- 地域におけるインフラ開発のため、包摂性、強靱性、持続的な能力構築を重視した「人間中心の投資」を通じた質の高い成長の促進の必要性を認識。
- アジアインフラ投資銀行（AIIB）設立の了解覚書（MOU）への創設国による署名に留意。創設国はAIIBの早期の活動開始及び既存の多国間開発銀行との協力に期待。
- 海洋安全保障の強化は地域の平和と安定の維持にとって重要な要素であることを認識。航行の自由、阻害されない適法な通商、力による威嚇・力の行使によらず、国連海洋法条約を含む国際法にのっとりた紛争の平和的解決の重要性を強調。この観点から、海洋協力強化の重要性に留意し、第3回ASEAN海洋フォーラム拡大会合（EAMF）の成果に満足した。南シナ海における関係国の行動宣言（DOC）の完全かつ効果的な実施及び行動規範（COC）の協議の進展を歓迎。
- 10月4日の南北間の実務者会合を歓迎。朝鮮半島の平和、安全、安定の必要性を強調し、南北間の対話の継続を要請。安保理決議上の義務及び六者会合共同声明の下でのコミットメントの完全な実施及び遵守の重要性を再確認。対話の重要性を認識しつつ、朝鮮半島の平和裏の非核化に道筋をつける六者会合のこれまでのコミットメントに基づき、六者会合の再開に必要な条件を作り出すことを求めた。この観点から、朝鮮半島及びそれを越えた地域における持続的な平和と安定に多大に貢献する韓国大統領による朝鮮半島信頼醸成プロセス及び北東アジア平和協力イニシアティブを歓迎。平和的統一のための最近のイニシアティブに留意。拉致問題を含む人権及び国際社会の人道上の懸念に対処する最近の日朝協議に留意。
- ISILの残虐な暴力、憎悪、不寛容及び全てのテロ行為を非難。ISILは基本的なイスラムの価値観・人間の価値を否定し、イラクとシリア、中東やそれを越えた地域に致命的な脅威を与えている。安保理決議を歓迎し、これら決議の完全実施へのコミットメントを再確認。関連国際法にのっとり、外国人戦闘員への資金供与や行動の円滑化を防止・抑止するため全ての必要な措置を講じることをコミット。この観点から、イラク及びシリアにおけるテロリスト・過激派組織に関する声明を採択。

（了）